

28  
Sept.

15:00 ~ 17:30

# 王希奇展 一九四六

## 開催記念シンポジウム

主催：学校法人城西大学

会場  
..学校法人城西大学  
9月  
28日〔木〕十五時～十七時三〇分  
平成  
29年

- 15:00～ 主催者挨拶
- 15:10～15:40 王希奇氏 基調講演  
「作品『一九四六』をめぐって」
- 15:50～17:30 パネルディスカッション  
「芸術で如何に歴史的記憶を表現するか」
- モデレーター：  
井口 和起（福知山公立大学学長）
- パネリスト：  
青柳 正規（元文化庁長官）  
牟岱（遼寧省社会科学院副院长、研究员）  
劉 悅笛（中国社会科学院研究员、  
国際美学学会（IAA）執行委員長）  
宋 偉（東北大学〔中国〕教授／美術評論家）  
張 燕楠（東北大学〔中国〕教授）

日本同時通訳あり・参加費無料（要事前申し込み）

お申込み・お問合せ：

学校法人城西大学 生涯教育センター

Tel.: 03-6238-1400

Fax.: 03-6238-1399

東京紀尾井町キャンパス 3号棟

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-20



■ 東京メトロ有楽町線 ■ 東京メトロ銀座線 ■ 東京メトロ南北線  
■ 東京メトロ半蔵門線 ■ 東京メトロ丸ノ内線 ■ JR線

アクセスマップ：

東京メトロ有楽町線 駒町駅 1番出口より徒歩 3 分  
東京メトロ南北線 永田町駅 9a 番出口より徒歩 5 分  
東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 1番出口より徒歩 5 分

# 王希奇展 一九四六

## 開催記念シンポジウム



### 趣旨

「王希奇展 一九四六」に、日本ならびに中国をはじめとする美術研究者、哲学者、歴史家、芸術家が集うこととなった。この貴重な機会を得て、「芸術で如何に歴史的記憶を表現するか」をテーマにそれぞれの観点から、表現について語る機会としたい。

### 王 希 奇

画家。中国錦州市に生まれる。魯迅美術学院油絵学部に勤める。中国美術家協会会員。

東洋的墨絵の要素を西洋油絵に自然に融合させた画風で評価される。特に歴史をテーマとする創作を得意とし、その独特な画風とオリジナルな視点で国内外の注目を浴び、既存の流派に属さない独立した芸術家と評される。なかでも、国家金メダル賞を獲得した《三国志・赤壁の戦い》(合作)、中国国家重大歴史題材美術創作プロジェクト入選作品《長征》、《遼瀋戦役 攻克錦州》(合作)及び《官渡の戦》などの大型絵画が代表作である。油絵の他、墨絵の《回声》、《高原人》、《聴雷》などの作品も全国美術作品展に入選。数多くの作品が中国美術館、中国国家歴史博物館、中国国家軍事博物館などに収蔵されている。近年では、2012年から2017年にかけて、胡蘆島港より105万人余の残留日本人の大送還をテーマとした大作《一九四六》(300 cm x 2000 cm)をはじめ、関連するシリーズ作品合計50点を制作した。

### 井口 和起

福知山公立大学学長、京都府立京都学・歴彩館顧問、京都府立大学名誉教授、中国・東北大学兼職教授。京都府立大学学長、日本学術会議第18・19期会員、京都府特別参与、京都府立総合資料館館長などを歴任。京都大学博士(文学)。専攻は日本近現代史。日本史研究会代表委員、東アジア近代史学会会長、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会長なども務めた。戦争体験の語り継ぎや展示活動にも長年たずさわってきた。

### 青柳 正規

ギリシャ・ローマ考古学の第一人者。中国大連市生まれ。東京大学文学部長、同副学長を経て国立西洋美術館館長、文化庁長官を歴任。現在、東京大学名誉教授、東京藝術大学社会連携センター特任教授。日本学士院会員。2006年紫綬褒章。2011年NHK放送文化賞受賞。「エウローパの舟の家」「古代都市ローマ」など著書多数。

### 牟岱

遼寧社会科学院副院長・研究员。ロイヤルメールボルン工科大学博士(哲学)。中国国务院政府特別手当の受給対象者。中国の国家哲学社会科学研究をリードする優秀な人材で、第一期の中国全国文化名人である。また、遼寧省委省政府決裁諮問委員会委員、遼寧省欧米同窓会副会長を務める。主に哲学と文化に関する研究に携わる。著作:「民生哲学問題研究」「形而上から形而下への路徑」等。100篇余りの学術論文を発表。

### 劉 悅 笛

中国社会科学院研究員。博士。アメリカ・フルブライトの訪問学者。国際美学協会(IAA)の執行委員会委員、中華美学学会(ICA)副秘書長兼常務理事、中国文芸理論学会理事、韓国芸術哲学学会(KAPA)顧問、雑誌『美学』執行編集長、雑誌『Comparative Philosophy』の編集委員を務める。近年、翻訳著作26部、国内外の重要な刊行物で100篇あまりの学術論文を発表。

### 宋 偉

博士。教授。中国文芸理論学会理事、中国中外文芸理論学会理事、国家社会科学基金重大プロジェクトの首席専門官、國務院特別手当の受給対象者。遼寧省美学学会副会長、遼寧文芸理論家協会副主席を務める。長期にわたり、美学理論と芸術理論の教學研究に携わる。『哲学研究』『文芸研究』などの刊行物で100篇あまりの学術論文を発表。著作:『批判と解構』『撮影の芸術教育』『芸術概論』等。

### 張 燕楠

博士。教授。アメリカ・フルブライト、ノーザンイリノイ大学の訪問学者。中国・東北大学芸術学院院長を務める。文芸美学や文芸批評領域の教學研究に携わる。ここ5年、国家社会科学基金、教育部人文社会科学基金の五つの科学研修課題を取り仕切る。『文芸争鳴』『社会科学輯刊』等の重要な刊行物で30篇あまりの論文を発表。10部あまりの著作、翻訳作品を出版。張氏が編集した『遼寧省文化産業の発展報告(青書)』は文化界に重要な影響を与えた。